

令和元年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRI「課題研究基礎」発表会 SSRA「課題研究A」中間発表会
期 日	令和2年3月4日(水) 午前 8:50~11:00
会 場	本校1年生各教室・多目的室
対 象	1年生全員(普通科・理数科)
目 的	<ul style="list-style-type: none"> “仮説を立てて、実験を行い、レポートにまとめ、発表する“という科学研究のプロセスを体験する。 理数科は、来年度の課題研究に向けて研究の方向性や、今後の展望について発表する。
内 容	<p>○普通科は9月から物理・化学・生物・地学・数学の各分野に分かれ行ってきた課題研究の成果をまとめ、各班による発表を行う。9月から、オリエンテーション1時間および2時間続きの授業を6回実施。今回はその内容をまとめ、各クラス10班程度の発表を行い、相互評価を行った。</p> <p>○理数科サイエンスコースは1学年理数科教室の2会場に分かれ、各班の調べた内容とこれからの研究方針を発表する。メディカルコースは多目的教室にて、研究の中間発表を行った。いずれのコースも活発な質疑応答が行われた。</p>



発表の様子

<各科目の課題研究の例>

普通科 素材による音の反響の違い 完全順列と確率 液状化現象を研究しよう
味覚と嗅覚、視覚の関係 家庭にある白い粉の見分け方

理数科 野球と反発係数の関係 硬水の活用方法 巻き貝が作る絆創膏
バックウォーター現象 エジプト式分数について

アンケート 評価	<p>発表会の後、17の項目について自己評価を行った。その中で自分に最もよくあてはまると答えたのは、</p> <ol style="list-style-type: none">①「他のメンバーと協力できた」②「研究活動は楽しかった」③「自主的・意欲的に取り組んだ」 <p>の順だった。</p> <p>また、自分にどのような力がついたと思うか、の問いには上から、</p> <ol style="list-style-type: none">①「チームワークを活用する力」②「プレゼンテーション能力・表現力」③「ものごとに対する好奇心もつ力」 <p>となった。</p> <p>科学に対する興味・関心はこの授業の前と比べてどう変わりましたか？の問いには、84.7%の生徒が「上がった」と答えた。</p>
-------------	---